

# 第11回対話の場について



- 日時：2022年12月5日（月）18：30～
- 場所：漁村センター
- 出席者：委員19名、ファシリテーター8名、神恵内村、経済産業省、北海道庁、NUMO

## <対話のテーマ>

- 運営委員会の開催結果報告
- 文献調査の進捗状況について
- 交付金制度の紹介と活用の考え方について

当日の資料などについては、NUMOのホームページに掲載し、神恵内交流センターで配布しております。より詳しい内容にご関心のある方には、以下の問い合わせ先までお気軽にご連絡ください。（電話番号：0135-67-7711）

## 運営委員会の開催結果報告

- 事務局から、運営委員会で検討した次回のテーマについて報告しました。
- 次回は、今回に引き続き、交付金などについて取り上げる予定です。

## 文献調査の進捗状況について

➢ NUMOから「文献調査の進捗状況について」報告しました。

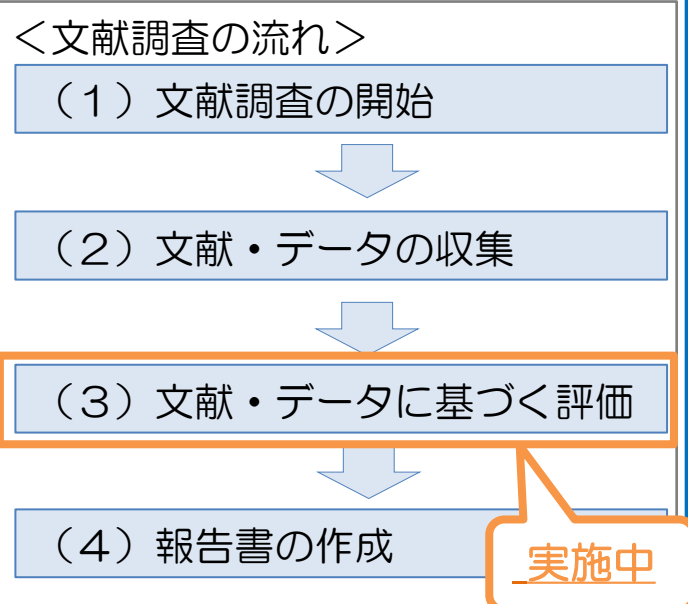
### ポイント1 有識者からご意見をいただきました

- 「収集した文献に不足などがないか」などについて、NUMOが個別に分野ごとの有識者に意見を伺いました。いただいたご意見は主に2点です。
- ① 「収集した文献に不足がないか」  
⇒ おおむね妥当である
- ② 「収集整理した情報の解釈が妥当か」  
⇒ おおむね妥当である

### ポイント2 国の審議会に説明しました

➢ 11月に国の審議会(地層処分技術ワーキンググループ)が開催され、NUMOが提示する「文献調査の評価の考え方(評価基準など)」について、各学会から推薦された専門家等の皆さまにご議論いただきました。いただいたご意見は主に4点です。

- ① 評価基準に適合しているかをどのように確認するのかを具体化したらどうか
- ② 文献調査でわからなかったことを概要調査でどう解決できるかを示したらどうか
- ③ 火山や活断層など以外の地下水流動なども扱ったらどうか
- ④ どういう検討をしているかを含めて地域の皆さまに分かり易く情報提供していくことが重要



## 交付金制度の紹介と活用の考え方について

➢ 経済産業省と神恵内村から「交付金について」説明しました。

経済産業省



神恵内村



「交付金制度の紹介」

電源立地対策交付金制度の趣旨や概要について等

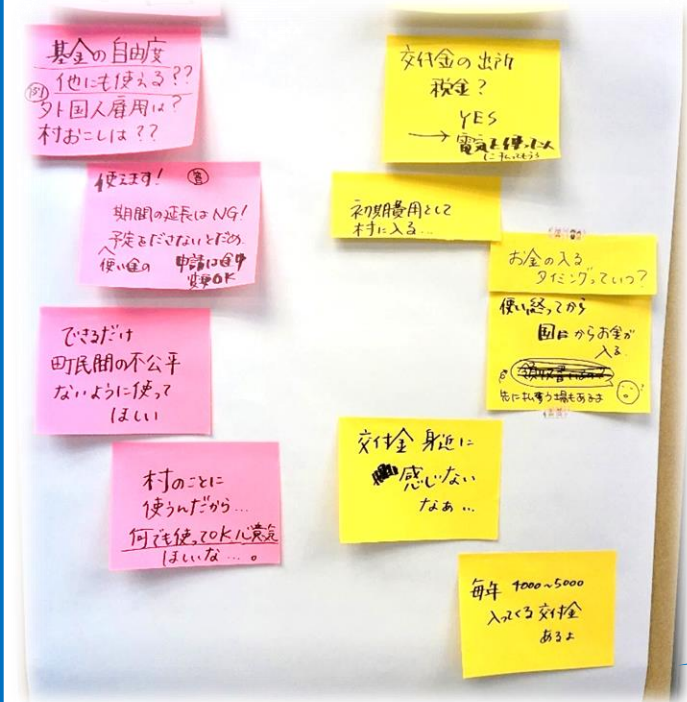
「交付金活用の考え方」

これまでの活用実績や基金の用途について等

➢ 説明後、テーブルに分かれ、委員の皆さまからご質問やご意見をいただきました。

## 対話の場で紹介されたテーブルワークの内容

### 「交付金制度について」話したテーブルの内容



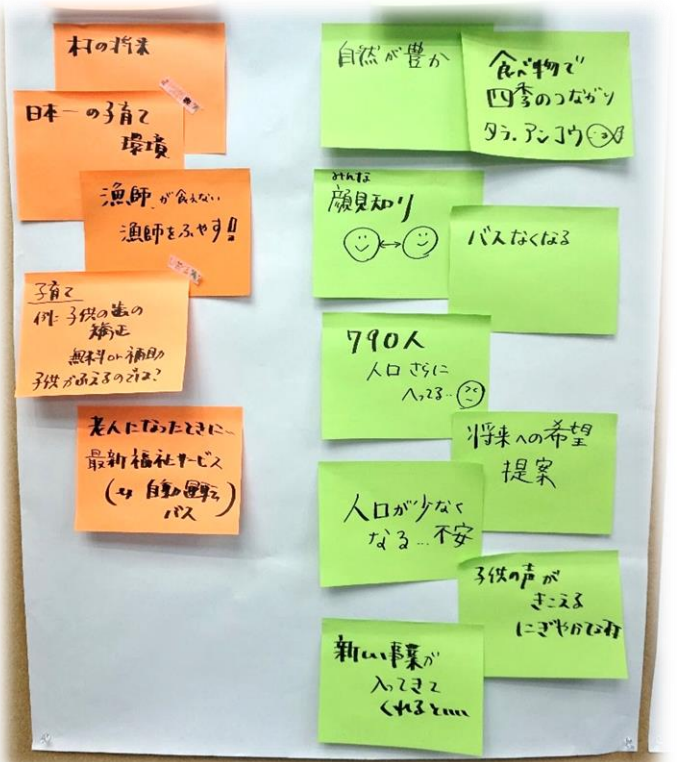
基金の使い道、新たな使用方法を提案できる？  
基金は村民間での不公平がないように使って欲しい  
村で考えたことは何にでも使える仕組みだと嬉しい

交付金は税金？  
交付金は一度にまとめて村に入る？  
交付金を身近に感じることはあまり無いが...

### 「村の将来について」話したテーブルの内容

交付金は「日本一の子育て環境」  
「最新技術を取り入れた福祉サービス」  
「漁師を増やす具体的支援」にあって欲しい

子供の声が聞こえる賑やかな村に！  
子育て世代が増えて欲しい  
新しい事業者や店が増えて欲しい



対話の場における配付資料や映像は、NUMOホームページでご覧いただけます。

NUMO  

<https://www.numo.or.jp/>